仙台市科学館
蒲生調査レポート　速報版

No.300

2022.3.16

〒981-0903　仙台市青葉区台原森林公園4番1号
仙台市科学館　事業係
TEL:022-276-2201　FAX:022-276-2204
http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/

蒲生干潟の植物⑱

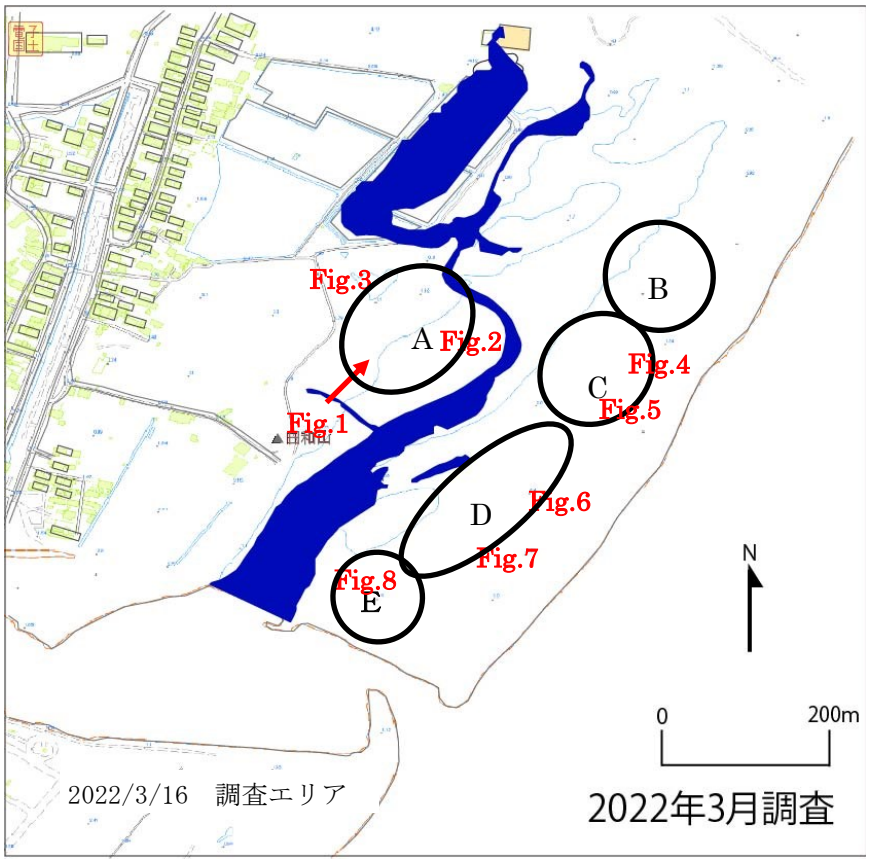

Fig.1　エリアＡを南東側から撮影

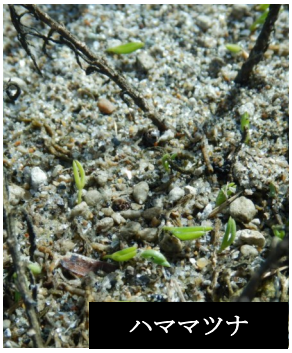

Fig.2　エリアＡで撮影

Fig.3　エリアＡで撮影

Fig.4 エリアＣで撮影

Fig.5　エリアＣで撮影

Fig.6　エリアＤで撮影

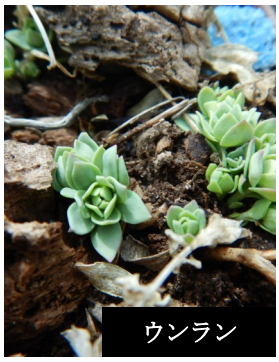

Fig.7　エリアＤで撮影

Fig.8　エリアＥで撮影

調査日時：2022年3月16日（水）9:40～11:10，天気:晴れ

定点観測では，ハママツナが枯れすっかり細くなっていた。遠目では新芽の様子は見えない（Fig.1）。ハママツナの根元を見てみると，直径数ミリの新芽が顔を出していた。（Fig.2）。エリアＡの東側に広がるヨシ原の根元にはほとんど新芽が見られなかったが，ごくわずかであるが確認することができた（Fig.3）。エリアＣ～Ｄにかけて，広範囲にハマニンニクが点在しており，根元や周辺に新たな株が数多く生えていた。背丈は5～10cmほどに成長しているものがほとんどであった（Fig.4,Fig.5）。エリアＤに生えている3本のマツのうち，中央にあるマツでは，新たな葉が伸び始めていた。冬を越し，これから伸長していくことが予想される（Fig.6）。エリアＤでは，ウンランの芽生えが確認することができた。非常に小さく直径1cm程度のものが複数見られた（Fig.7）。エリアＥにある枯死したオカヒジキの周辺に，直径3cm程度の若い個体が見られた（Fig.8）。気温の上昇とともに，さらに多くの植物の芽生えを期待したい。

（宮﨑佳彦）